

令和6年度 ICT教育専門部会研修会 報告書

1. 目的 ICT教育に関わる課題や先進技術についての講演を通して、各校のICT教育の発展に寄与する。
2. 日時 令和6年11月18日(月) 13:30~16:00
3. 会場 静岡県私学会館 5階 大会議室
〒420-0853 静岡市葵区追手町9-26
TEL 054-254-8208
4. 内容 ICT教材業者による教材・実践例の紹介
5. 日程
13:00~13:30 受付
13:30~13:40 開会 専門部長挨拶
13:40~14:20 講演①AIドリル「Monoxer」
14:20~15:00 講演②探究教材「Inspire High」
15:00~15:10 休憩
15:10~15:50 講演③映像授業「スタディサプリ」
15:50~16:10 質疑応答
16:10~16:20 諸連絡・アンケート記入・閉会
16:20~16:50 専門委員会 4. 日程

6. 講師
①モノグサ株式会社
事業開発・セールス ジェネラルマネージャー 竹村 拓人 氏
②株式会社 Inspire High
中高事業部 山口 竣平 氏
③株式会社リクルート
まなび教育支援 Division 市場開発部 中川 翔太 氏

7. 参加者 ICT教育専門部会委員 静岡県内私立学校教員 13名

8. 内容

AIドリル「Monoxer」、動画教材「InspireHigh」、映像授業「スタディサプリ」の3教材について、それぞれの担当者から教材の特徴や活用の仕方、学習効果など学校現場で取り入れるメリットについて、講演した。

「Monoxer」は実際に参加者のスマホ、タブレットにアプリをダウンロードし、教材を体験した。「InspireHigh」は動画やニュース番組で取り上げられた活用事例などを紹介しながら、探究学習での取り組み方等が話された。「スタディサプリ」は授業動画だけでなく付属する機能の活用法や新機能などの紹介があった。

いずれもすでに使用している学校を含め、ICT教材の授業や家庭学習の新しい方法としての可能性を考える一つの機会となった。

9. アンケートより

目的に応じて様々な教材の中からどの教材を取り入れるべきか参考になった、3つの教材を比較しながら、それぞれの特徴や活用方法など、ICT教材を導入検討のきっかけとなった、実際に使用している学校の実践例なども聞きたかった、等の意見が寄せられた。次年度への参考とさせていただいた。